

かたつむり山発電所設置計画に係る環境監視及び事後調査結果（2023 年度）

「かたつむり山発電所（仮称）設置計画 環境影響評価書」に基づき実施した、2023 年度の建設工事期間中の環境監視及び事後調査の結果は、以下の通りです。

<環境監視>

環境要素		監視項目	実施内容
大気環境	騒音	工事関係車両等の運行状況	工事区域に入構した工事関係車両の台数は延べ8279台でした。月当たりの車両運行が最大となったのは2023 年9月で 1416 台/月、日当たりの最大は2023年8月1日で95台/日でした。
水環境	水質	工事排水の水質（浮遊物質）	土地造成工事及び車両洗浄等により発生する工事排水はわずかであったことから、仮設沈砂池等で浸透処理しました。雨水処理については、仮設沈砂池に集水し砂泥を沈降させ、上澄水を沢に排水しました。排水発生が少量であり、濁水処理装置を稼働する必要がなかったため、同装置出口での浮遊物質量は測定していません。
	地下水の水質及び水位	トンネル湧水量	2023年度トンネルは掘削しなかったため、湧水は発生していません。（トンネルは2024年度に掘削する計画です）
		トンネル湧水の水質（pH、重金属など）	同上
		表流水の流量	トンネル掘削予定の山域を集水域とする3つの沢の流量を6回（5月～10月：月1回）測定しました。自然変動以外の変化は確認されませんでした。
温泉	温度、湧出量、泉質	周辺温泉（大噴湯、小安峡温泉、大湯）の温度、湧出量、泉質（成分）を4回（5月、8月、11月、2月）測定しました。自然変動以外の変化は確認されませんでした。	
動物	重要な種及び注目すべき生息地	ハチクマ及びハイタカの生息・繁殖状況	ハチクマおよびハイタカを対象とする調査を3月～12月に実施しました。2023年度調査では、ハチクマ、ハイタカともに対象事業実施区域周辺での行動は少なく、ペアを識別できる行動は確認できませんでした。

植物	重要な種及び重要な群落	タマミクリ及びミチバタガラシの生育状況	タマミクリおよびミチバタガラシのモニタリングについては2022年度に終了（※環境監視計画で調査期間は移植後2年間であり、専門家ヒアリングに基づき終了）
廃棄物等	廃棄物等	廃棄物の処理状況	建設工事に伴い発生し法令に基づき適切に処分した産業廃棄物は総量約3976 t（主な廃棄物は木くず：58%、コンクリートガラ：35%、建設汚泥：5%）でした。 ※数値は、小数点以下を四捨五入しています。

<事後調査>

環境要素		調査項目	実施内容
生態系	地域を特徴づける生態系	クマタカの生息・繁殖状況	23年3月～23年12月に調査を実施しました。昨年度と同じ営巣地で産卵し、幼鳥1羽の巣立が確認できました。工事中も工事箇所周辺で行動しており、工事を忌避する様子は見られませんでした。

以上